

高耐熱接着剤転写テープ (鉛フリーハンダリフロー用) 9079

1. 概要: 9079は環境意識の高まりとともに増加している鉛フリーハンダのリフロー工程を通過した後で、従来の粘着テープでは問題のあった剥離紙の剥離性や粘着力の低下等の問題を解決した新しい転写テープです。

2. 構造:

9079



高耐熱性アクリル系粘着剤
高耐熱性剥離紙

3. 特長:

- (1) 鉛フリーリフロー通過後も剥離紙の劣化が少なく、剥離可能です。
- (2) 鉛フリーリフロー通過後の粘着力の低下が従来のテープと比較してかなり小さいです。
- (3) 耐熱保持力に優れ、高温中でのズレ量が少なくなっています。また、リフロー後も耐熱保持力の低下は少なくなっています。
- (4) 粘着剤の糸びきが少なく、加工性に優れます。
- (5) 発生アウトガス量が少なく、電子部品等に与える影響が少なくなっています。

4. 一般特性:

項目	単位	9079
テープ厚さ	μm	50
剥離紙厚さ	μm	90
180度方向剥離力	N/cm	4.0

(試験方法)

厚さ: 接触面直径5mmのダイヤルゲージ使用

180度方向剥離力: 25 μmPETにて裏打ち。対 SUS304 #280 研磨面、2kgゴムローラー1往復圧着、20分~40分放置後 300mm/分で測定。

5. 剥離紙 90 度方向剥離力:

	剥離紙剥離力
リフロー前(初期)	0.18
リフロー後	0.44

単位: N/cm

(試験方法)

剥離紙を 300mm/分で 90 度方向に剥離。リフローは 260°C以上 × 40 秒通過。

6. 被着体別180度方向剥離力:

	ポリイミドフィルム	ポリエステルフィルム	ガラスエポキシ板
リフロー前(初期)	5.9	5.6	5.4
リフロー後	5.2	5.0	4.9

単位: N/cm

(試験方法)

CCL(75 μm 厚)にて裏打ち。2kg ゴムローラー1 往復圧着、20 分~40 分放置後 300mm/分で測定。リフローは 260°C以上 × 40 秒通過。

7. 剪断保持力:

	剪断保持力
100°C	ズレなし
180°C	0.3mm

(試験方法)

25mm 角のサンプルを SUS にて挟み込み。2kg ゴムローラー1 往復圧着、各温度にて 1 時間放置後 1.5kg の荷重をかけ、1 時間後のズレ量を測定。

8. アウトガス量:

	アウトガス量
9079	230

単位: μg/g

(試験方法)

DHS-GC/MS 法。120°C × 15 分加熱。ペンタデカン換算。

仕様及び外観は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。本書に記載してある事項、技術上の資料並びに勧告はすべて、当社の信頼している実験に基づいていますが、その正確性若しくは完全性について絶対的な保証はしません。使用者は使用に先立って製品が自己の用途に適合するか否かを判断し、それに伴う危険と責任もすべて追うものとします。売主及び製造者の義務は不良であることが証明された製品を取り替えることだけであり、それ以外の責任はご容赦ください。本書に記載されていない事項若しくは勧告は、売主及び製造者の役員が署名した契約書によらない限りは当社は責任を負いません。

●<3M>は、3M 社の商標です。

スリーエム ジャパン株式会社

テープ・接着剤製品事業部

〒141-8684

東京都品川区北品川6-7-29

<http://www.mmm.co.jp/tape-adh/>

Please Recycle. Printed in Japan

© 3M 2009. All rights reserved

IND-DS-

